

# APT 通信

(葵高校教育改革プロジェクトチーム)

第1号 令和元年6月10日発行

## < 葵高校教育改革 >

昨年度、葵高校は高大接続改革を念頭に、特色ある学校づくりを目指して、教育改革に取り組みを始め、葵高校教育改革プロジェクトチーム（通称：APT）を発足しました。

### ○なぜ改革が必要なのか？

現在の高校2年生が大学を受験するとき、入試制度が大きく変わり、「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に学習に取り組む態度」も評価の対象となります。また、少子化が進む中で葵高校が存続していくためには、地域に必要とされる特色ある学校づくりが必要です。葵高校の生徒たちが「自分の意志を持って主体的に」人生を切り拓くことができる人材になり、将来の会津を担っていくことができるようになるために、今、教育改革が必要なのです。

そこで、昨年度より葵高校の学校改革スローガンを設定しました。

## 『私の選択には、意志がある。』

このスローガンの下で葵高校は新しい時代に向け邁進していきます。

### ○改革の内容は？

改革の大きな柱は以下の4点です。

#### ①アクティブラーニング（AL）の普及

ALとは一方的な受け身の授業ではなく、生徒が主体的に学び、他者と協働して自ら答えを見だし、深い学びにつなげる授業です。葵高校では授業に個々の演習だけでなく、ペアワークやグループワークを様々な場面で取り入れ、お互いに教え合ったり、みんなで考えたりするなかで、自主的・能動的・協働的な授業のスタイルを確立していきます。また、今年度から葵高生が身につけたい10のチカラを設定し、生徒の到達度を可視化できるルーブリックを作成しました。生徒自身が自己評価することで、自己の到達度を振り返ることができるだけでなく、教員の授業改善につながります。

## ② 葵ゼミの実践

1年生は総合的な探究の時間、2年生は総合的な学習の時間を活用して、探究活動を行います。生徒たちは興味のある分野について自由にテーマを決め、年間20～30時間をかけて自分たちで研究・討論・発表・レポート作成を行っていきます。

1年次の大テーマは「井の中を知り、井の中に学ぶ」です。会津や福島県の課題について探究していきます。2年次の大テーマは「大海を知り、大海に学ぶ」です。広い世界を視野に入れ、1年次に培った知識や技能を基に探究していきます。

昨年度の先輩たちが設定したテーマとして次のようなものが挙げられます。「福島県民の肥満率を下げるには」「地域活性化を目指して」「野生動物による被害を防ぐには」「外国人労働者受け入れについて」「会津の地域活性化のため、今、何をすべきか」他



レポートの作成にはG-suiteと呼ばれるGoogleのシステムを使います。これはパソコン上で、複数の人が同時に書き込みながら編集できるシステムで、ネットワークに接続していれば、いつでも、どこでも書き込むことができるので、自宅でグループワークを行うことも可能です。昨年度はレポート作成だけでなく、発表用の原稿も作成しました。

## ③ 英語4技能の育成

大学入試において「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するため、民間資格・検定試験を活用することが検討されています。葵高校では平成30年から令和2年までの3年間「英語指導力向上事業」協力校の指定を受けました。本校独自の英語指導法「葵モデル」の確立を目指しながら、4技能の育成を図ります。

## ④ e-ポートフォリオの作成

これからの大学入試では「自分が何をしてきたか」「何を学んできたか」を語ることが求められます。そのために高校生活の歩みを自分で記録していく必要があります。葵高校では、ベネッセのClassiというシステムをとおして学びに関わるあらゆる記録をデジタル化して残していきます。

以上のような取組をとおして葵高校では「自ら考え、行動し、自分の考えを発信できる人材」を育成していきます。新たな時代に向かう葵高校にご期待ください。